

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第4号
令和3年7月1日発行

学校教育目標
「なかよく かしく たくましく」

三つの約束
○あいさつ
○整理整頓
○時間を守る

1年生	45名	4年生	52名	
児	2年生	39名	5年生	40名
童	3年生	40名	6年生	57名
数	5組	6名	6組	2名
	全校児童数 281			

人が育つこと、人のたくましさに感動 校長 仲田 智宏

熱中症が心配な暑い日、雷雨の日、湿気が多く蒸し暑い日、梅雨寒の日、安全や健康に気を配らなくてはならない日が続いています。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。

学校では、水遊びや水泳の学習が始まりました。天候に左右されますので、もうプールに入った学年もあれば、これからという学年もあります。昨年度はまったく実施できませんでしたので、2年ぶりのプールを楽しんで欲しいと思います。授業の様子を見にいくと、約束を守りながら生き活きと活動していました。

先日、6年生の家庭科の調理実習を参観しました。感染症対策を徹底し少人数で実施していました。調理実習も昨年度は、家庭での取り組みでしたので、家庭科室を使用して子どもたちが協力して活動するのも6年生にとっては初めてです。少人数ですから一人一人の役割もしっかり決まっていて、みんな一生懸命に活動していました。自分で作った野菜炒めを食べる顔は、みな笑顔でした。

今年度は、異年齢の活動も充実しています。掃除の時間には、1年生の教室でコーチは6年生です。その様子を見ると、たくましく成長していく子どもの姿に感動します。年上の子が年下の子の面倒をみるという活動が、いかに人を育てるかということがわかります。1年生から6年生までの子どもたちがグループを作る活動も本校の特色です。その縦割り活動のメインイベント「フレンドリー集会」が開催されたことも大きな出来事でした。小学校版文化祭のこのイベントでは、遊びのコーナーを自分たちで企画・運営し、楽しみながら活動します。そして豊かな心を育てます。世の中はまだ制限が多いですから、学校の中で実施されるイベントは貴重な経験として、大切にしなければならぬと感じました。

教職員たちも様々な工夫をして、子ども達を育てています。昨年度から今年度にかけて素晴らしい進歩を遂げているのは、映像を利用した教材です。先日、映像による体育朝会（プール開き）が行われました。プールサイドを舞台に役者として登場するのは、みんな先生たちです。教室の子ども達はテレビ画面に見入り、プールでの約束事をしっかりと学んでいました。映像による音楽朝会も行われました。5年生や6年生の子ども達が登場し、「三富おろし」を説明していました。また、楽器の名称や楽器の音についてクイズ形式で紹介していました。こうした教材を、時間をかけて、子どもへの思いを馳せながら作り出す教員に感動します。中富小らしさがさらに増しています。コロナ禍をのり越えていくために、新しいことを創造する人のたくましさを感じます。

今日から7月、例年、海の日あたりに梅雨明けすることが多いで、もうしばらくです。真夏の太陽も、子ども達が楽しみにしている夏休みも、すぐそこまで来ています。